

10/2 普天間飛行場における泡消火剤漏出事故について(要請)

令和2年4月10日に発生した普天間飛行場からの泡消火剤漏出事故に係る米側の事故調査報告書の概要報告を受け、改めて、沖縄防衛局長、外務省沖縄担当大使、第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官、沖縄米国総領事へ要請を行いました。

松川市長は、市民が実感できる危険性除去及び基地負担軽減を強く求めているなか、市民生活に大きな不



安を与えたことは大変遺憾であり、再発防止策の徹底や、PFOS等を含まない泡消火剤へ早急に交換すること等を求めました。また、問題の抜本的解決に向け、普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還と、速やかな運用停止をはじめとする返還までの間の危険性除去及び基地負担軽減を早急に実現することを、最重要課題として目に見える形で取り組むよう強く要請しました。

10/7,8,9

普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還及び速やかな運用停止の実現並びに基地跡地利用の推進について(要請)

普天間飛行場の全面返還合意から24年が経過する今なお、返還が実現していないなか、普天間飛行場所属機による夜間騒音や外来機の相次ぐ飛来に伴う騒音被害を訴える声が数多く寄せられており、さらに今年4月には、PFOSを含む大量の泡消火剤が基地の外へ漏出し、泡が市街地を飛散するなど、市民生活に大きな影響を与えていた現状を踏まえ、一日も早い閉鎖・返還と返還までの間の危険性の除去及び基地負担軽減の実現に向けて、目に見える形での取り組みを要請するとともに、返還期日を確定するよう強く求めました。



加藤 勝信 内閣官房長官

また、西普天間住宅地区における跡地利用の推進については、過重な基地負担を強いられてきた市民へ明るい未来を提示するものであり、引き続き財政支援を積極的に取り組むよう要請しました。

【要請先】

内閣官房長官、防衛大臣、外務大臣、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策・規制改革）



河野 太郎 内閣府特命担当大臣



岸 信夫 防衛大臣



茂木 敏充 外務大臣

10/10,10/22

加藤官房長官、岸防衛大臣との面談及び普天間飛行場視察について

加藤官房長官、岸防衛大臣の訪沖に伴い、松川市長と面談及び普天間飛行場視察を行いました。

加藤官房長官からは、「普天間飛行場の一日も早い全面返還の実現に向けて引き続き全力で取り組むとともに、危険性除去を中心に返還までの間の基地負担軽減についても、目に見える形で実現する思いで対応したい。また西普天間住宅地区跡地における沖縄健康新拠点の整備が基地の跡地利用のモデルケースとなるよう引き続き積極的に支援していきたい」とのお話がありました。



▲10/10 加藤官房長官による普天間飛行場視察



▲10/22 岸防衛大臣との面談